厚生関係

●主たる事業

△塩屋集会所整備事業
△一般廃棄物処理基本計画策定事業
△松前町障害自立ひまわりの会補助金
△ビオトープ整備事業
△子ども手当て給付事業

●審査内容の主なもの

◎H21年度補正予算関係

問　子育て支援対策費の減額の理由は。

答　新政権による「子育て応援特別手当」廃止の決定を受けた減額です。

問　保険給付費の減額理由は。

答　居宅介護サービス費については、一人当りの給付額が当初見込額を下回ったこと、施設介護サービス費については、利用者数が当初見込を下回ったからです。

◎H22年度当初予算関係

問　子ども手当の給付に係る予定は。

答　4月に新規対象者に申請書を発送し、5月に決定、6月には、第1回の支給開始です。

問　放課後児童クラブの時間延長の実施予定は。

答　第2学期から月1回、土曜日の午後も行います。

問　保育所の臨時保育士については。

答　臨時保育士は31名、その他臨時調理員、臨時職員18名、計49名を見込んでいます。

問　国保税収納率の見込を前年度より低くした理由は。

答　高齢者が国保資格を喪失したことにより、平成20年度の収納率が低下したからです。

問　新しい後期高齢者医療保険料率の決定において国からの財政支援はあったのか。

答　国からの新たな財政支援は行われていません。

問　特別養護老人ホームの入所待機者が多数となるなど、介護施設が不足しているが対策は。

答　第4期介護保険計画において小規模特別養護老人ホーム、グループホームの整備を図ります。県も第5期計画を前倒して、特別老人ホームの増床を行います。

新しい集会所が楽しみです

産業建設関係

●主たる事業

△土地改良事業
△国土調査事業
△下水路等改良・維持管理事業
△公共下水道事業
△地産地消促進事業

●審査内容の主なもの

◎H21年度補正予算関係

町道西古泉筒井線の減額に関し、今後の計画は。

答　松前公園から西の第2工区は、地権者の理解が得られず、一旦休止としていますが、地権者の協力が得られた時点で推進していきます。

第1工区は、道路整備財源の取り扱いが不透明な状況であるため事業計画を見直しています。

財源の見込みがたてば、実施していきます。

◎H22年度当初予算関係

問　学校給食で地元米について取り組んでいるが、今後米以外についての考えは。

答　野菜についても現在検討を行なっています。

問　町道筒井徳丸線が完成するが当予算で完了するのか、また式典は、どのような事を考えているのか。

答　事業費については、現予算内で完成を見込んでいます。

式典は極力簡素なものとし、完成を多くの町民に認識してもらうよう、イベント的なものを考えています。

問　港まつりなど一定の支援は必要であるが、一過性の支援ではなく、産業としての位置づけでの漁業振興を図っていくような取り組みが必要と考えるが。

答　港まつりは、漁協の青年部や女性部が主体となって実施しています。文化祭等にも積極的に参加するなど漁協への気運が盛り上がってきているので、今後も支援していきます。

完成間近の筒井徳丸線